



平成28年10月24日

防災の基礎・基本 対応策学べる冊子 防災教育推進協会

子どもの防災意識の向上を目的に「ジュニア防災検定(JBK)」を実施している一般財団法人防災教育推進協会(理事長 山岡耕春・日本地震学会会長)はこのほど、防災の基礎・基本や自然災害の発生メカニズムと対応策などをまとめた冊子「わたしたちの防災」を作成した。学校での防災教育だけでなく、

JBKや高校生以上を対象にした「防災検定」のテキストとしても活用できる内容だ。

「わたしたちの防災」は全15章の構成で、前半は「自助・共助・公助」「避難三原則」の説明や、「家族防災会議」「ハザードマップの活用」の方法を掲載。災害についての法律なども扱う。

後半は地震や津波、台風、土砂災害、火山の噴火など主だった自然災害の概要と対応策を紹介している。

防災については自治体などで多様な資料が作られているが、同冊子は「生活再建までが防災対策」という考えの下、生活支援や住宅再建支援の各種制度、火災保険と地震保険の対象範囲、仮設住宅・災害公営住宅などもまとめているところが特徴だ。また、避難生活中の災害関連死の問題に触れ、熱中症やエコノミークラス症候群などへの備えの在り方も提案している。

同協会の笠間正弘・防災教育センター長は「社会全体の防災意識を高めることが私たちの願い。冊子や検定が、防災を考えるきっかけになればうれしい」と語った。

子どもと地域の課題